

# '98 KURASHIKI SUMMER JAZZ FESTIVAL

with MONTEREY JAZZ FESTIVAL



'98/7/30 THU

PONCHO SANCHEZ & LATIN BAND

KARRIN ALLYSON & TRIO

BILL BERRY & HIGHSCHOOL·ALL STAR·BIG BAND

COUNT HERD JAZZ ORCHESTRA



The Monterey  
Jazz Festival 

8 July, 1998

Mr. Dai Matsui  
Count Herd Jazz Orchestra

Dear Friends in Kurashiki:  
On behalf of the Monterey Jazz Festival, I am happy to  
welcome you to the Kurashiki Jazz Festival.

It is a special pleasure to be here in this wonderful city,  
with its proud heritage of history and art.  
We are indeed privileged to be able to enjoy this fine  
festival in this beautiful venue, the Ivy Square Hotel.

As you may know, the Monterey Jazz Festival has a special  
focus on jazz education, so it is especially pleasing for  
members of our Board of Directors to be here with our  
talented young jazz musicians as they perform in Kurashiki.

Our thanks to Mr. Dai Matsui for his skill in making this  
festival a success, year after year, and our thanks to all of  
the people who have worked so hard to make this  
wonderful festival the exciting event it has become.

We are privileged and honored to be associated with the  
Kurashiki Jazz Festival and look forward to building a  
continuing relationship through jazz.  
Sincerely,



Joseph K. Green II  
President, Board of Directors  
Monterey Jazz Festival

## ごあいさつ

本日、ここに『第8回 KURASHIKI SUMMER JAZZ FESTIVAL』が開催されますことを誠に光栄に思っております。  
毎年、暑い中を市内外より当フェスティバルにご参加くださいました皆様、そして開催にあたり快くご協賛くださいましたスポンサーの皆様に衷心より厚く御礼申し上げます。

当フェスティバルは、今回から『MONTEREY JAZZ FESTIVAL実行委員会』からグレードの高いジャズ・フェスティバルとして認められ、『MJFファミリー』として公認されました。  
これも偏に皆様方に育てて戴いたお陰と感謝いたしております。そして、今年はメインアーティストとは別に『MJFハイスクール・オールスター・ビッグバンド』も特別に参加して花を添えてくれます。

政治や金融の不安により、景気の低迷はまだ暫くは続きそうな時ではありますが、いつまでも暗く沈んだ日本ではいけません。  
一人一人が元気を出して前に進もうではありませんか!!  
我々もJAZZというサウンドを通して一生懸命地域に貢献出来たらとの思いで頑張ります。  
『ジュズとジャズ』今年もよろしくお願い申し上げます。

どうぞ最後までお楽しみくださいませ。  
ありがとうございました。

合 掌

KURASHIKI SUMMER JAZZ FESTIVAL

実行委員会 代表

松井 大園

DAIEN MATSUI



# PONCHO SANCHEZ & LATIN BAND



## ラテンジャズの巨匠 PONCHO SANCHEZ (CONGAS)

ポンチョ・サンチェスが、1960年代ウエストコーストでハードバップを作り上げた強烈なジャズバンド「ジャズクルーセイダーズ」の曲を初めて聴いたのは彼がまだ12歳の時だった。現在彼は45歳で、ラテンジャズとサルサのパーカッション奏者としてバンドを結成以来のメンバーでトロンボーン奏者のウエイン・ヘンダーソンとテナーサクソ奏者のウイルトン・ヘンダーと共に昔からの「フリーダムサウンド」を守り続けている。

サンチェスは幼い頃からアフリカ系キューバの音楽とジャズに慣れ親しんできた。サンチェスは1951年10月30日テキサス州のラレドに11人兄弟の末っ子として生まれ、ロサンゼルスで育った。兄弟の中にはハードコアジャズの熱狂的ファンがいて、兄弟全員がサルサ好きという環境だった。サンチェスにとって、チャーリー・パーカー、ディジー・ガレスピー、クリフォード・ブラウン、セロニアス・モンクといった大御所に加え、チト・ロドリゲス、チト・フエンテ、マチト、セリア・クルス、チト・フエンテとレイ・バレットなどのラテンの巨匠達と日常的に接するのもそれほど難しいことではなかった。サンチェスはジャズの即興演奏の技術だけでなく、マンボ、ソン、チャチャ、ルンバ、ガラチャなどのアフリカ系キューバの音楽（これらは全てサルサの一種である。）を全てまたたく間に吸収した。

サンチェスに最も大きな影響を与えたのは、1950年代ラテンジャズの普及に大きく貢献したヴィブラフォン奏者の故カル・テュハダーだった。長い間テュハダーを慕ってきたサンチェスは1975年23歳の時、ついに彼のバンドに加わることになり、テュハダーが1982年5月5日フィリピンのマニラで56歳で亡くなるまで、活動を共にした。「ずっとあこがれていた人と一緒に演奏できるなんて、夢のようだった。」「彼の音楽が好きでたまらなくて、彼と即興演奏をした。」

サンチェスが最初のコンコード・ピカンテ・アルバム（全体では3枚目）から「ソナンド」を出した。このアルバムとその後に出されたアルバム、「ビエン・サプロソ」（1983）、「エル・コンヘロ」（1985）、「パバ・ハト」（1986）などにより、サンチェスはラテンジャズの巨匠としての地位を確立した。

彼がアフリカ系キューバのリズムを完璧に自分のものにしていて、彼がキューバ系でもプエルトリコ系でもないことを知って驚く人は多い。実際彼はメキシコ系アメリカ人で、アメリカ南西部にしか住んだことがない。「本当にキューバやプエルトリコの出身じゃないの？」と今でも聞かれることがある。そんな時私は「ああ。私はテキサス州のラレドで生まれ、ロサンゼルスのメキシコ系（の人達）の居住地域で育ったんだ。」と答える。「ラテンジャズを心で感じ、それを心から愛していれば、どこ出身であるかなんて関係ないよ。」とサンチェスは笑いながら言う。1990年の

ライブアルバム「キンバル西部の一夜」とピカンテからアルバムを13枚スタジオ収録した後でも、弦楽器だけのボサノバのアルバムを作ることや、チト・ロドリゲスやパーカッション奏者のビッグ・ブラックやソウルの巨匠ジェームス・ブラウンとの競演などさまざまなアイデアを持っている。「子供のころジミー・スミス、ジャック・マクドフとリチャード・グループ・ホームズなんかの音楽をよく聴いた。アイデアはたくさんあるし、ラテンにもジャズにもいける。ラテンジャズはたぎる情熱だ。」サンチェスはこれまでを振り返って「ラテンジャズの道のりは常に困難の連続で、その難関をようやく通り抜け、頂上にたどり着いた様な気がする。振り返ってみるとよくやってきたと思う。」

## [LATIN BAND member]

- RAMON BANDA(TIMBALES)
- TONY BANDA(BASS)
- SAL CRACCHIOLO(TRUMPET)
- SCOTT MARTIN(SAX)
- JOSE RODRIGUEZ(BONGOS)
- ALEX HENDERSON(TROMBONE)
- DAVID TORRES(PIANO)



# KARRIN ALLYSON & TRIO



## KARRIN ALLYSON (VOCAL & PIANO)

まだ30代のカリン・アリソンは、大草原から吹く爽やかなそよ風のように1990年代の全米のジャズシーンに突如現れた。独自のスタイルで、それは以前のジャズアイドルたちの歌声とは全く異質であったが、細いながらしなやかな明るい色調の彼女の声は、アメリカ大陸全土の選りすぐりのミュージシャンたちの声にも決して引けをとらないものだ。

他の女性ジャズシンガーたちと同様、彼女はピアニストとしても相当な実力派であり、いくつかのレコーディング曲でその腕前を披露している。そのことは彼女のバックで演奏するミュージシャンやその他のミュージシャン仲間達から絶大な信頼を得ることにつながっている。また、他の多くの巨匠と呼ばれるジャズシンガーたちと同様、彼女の声自身が楽器であり、スカットを大物シンガーの余裕と遊び心で回りを巻き込んでしまう。

カンザス州の中心地のすぐそばのグレートベントに生まれたアリソンは、幼少時代を過ごしたカンザスシティを自分の故郷と感じている。やがて家族はネブラスカ州のオマハに移り、彼女は6歳からクラシックピアノを学び始めた。おもしろいことに、彼女はフォークシンガーとしてスタートし、週末には女の子だけのロックバンドで歌っていた。彼女は、ネブラスカ大学でピアノを専攻し、バッサやショパンを学んでいて、大学に入るまではジャズについてはあまり知らなかったが、学生時代、地元のパバーでソロ歌手として歌い始め、中でもサラボーン、カーメン・マクレー、ベティ・カーター、ナンシー・ウィルソンの影響を受けた。

アリソンはクラシックの演奏家として生きることは合わないと感じ、1987年大学卒

業後、しばらくしてミネアポリスのセントポールに移った。そこでジャズピアニストおよびボーカリストとして地元で注目される存在となった。1992年に自費で最初のCDの製作とレコーディングを行ったところ、コンコードジャズに発掘され、翌年「I Didn't Know About You」(CCD-4543)というアルバムタイトルで発表された。まもなく、シカゴのグリーンミルやニューヨークのメンドシーノジャズフェスティバル、さらにマイケルズバブからメインゲストシンガーとしての出演依頼を受けるようになった。

優れた演奏技術と好奇心を兼ね備えたアーティストであるアリソンは時々予想のつかないような取り合わせや楽器を彼女の音楽に取り込んでいる。たとえば、タイトル曲をワルツテンポにしたり、「Like Someone in Love」では正統派ジャズとサンバで鮮やかなコントラストを作り出ししている。また、ラーナ&ロイの「Show Me」では、難しい15/4拍子を軽快に取り入れている。アリソンのアップテンポでリズムカルなスカットを即妙に歌いこなす能力は、パートンの流れるようなハップのピラフォン音色によって引き立ち、「Donna Lee/(Back Home In) India」のメドレーや、サンバの曲「So Danco Samba」で存分にその能力が発揮されている。セロニアス・モンクの3つの曲はローラ・キャピアーニのアレンジによって一つのメドレーにまとめられ、その中でアリソンの歌声は、気まぐれに変わるメロディラインに合わせて自在に変化する。

カリン・アリソンのような才能豊かなヴァーカリストが素晴らしいアルバムを次々に発表してくれている限り、21世紀のジャズヴォーカルの状況について憂う必要はないだろう。

- ## [TRIO]
- LAURA CAVIANI(PIANO)
  - BOB BOWMAN(BASS)
  - TODD STRAIT(DRUMS)

# The Monterey Jazz Festival

## BILL BERRY & HIGH-SCHOOL ALLSTAR-BIG BAND



1930年生まれ。両親がミュージシャンだったため、子供の頃からバンドに慣れ親しんでいた。5歳でピアノを始めたが、高校生になると、トランペットに興味を持つ。卒業後、バンドメンバーと3年間ミッドウエストを周った。その後、アメリカ空軍をへて、シンシナティ音楽大学、パークリー音楽大学で学んでいる。1957年、ウディ・ハーマンバンドのメンバーとなり、その後「メイナード・ファーガソン」「サド・ジョーンズ/メル・ルイス」「デューク・エリントン」などのバンドを渡り歩いている。1965年マーク・グリッフェンのテレビ番組に出演、15年間も続いた。1970年にビッグバンドを結成、「ビル・ベリー&ザ・L.Aバンド」はメジャーになった。彼はバンドとしてだけではなく、ソロとしてもイギリス、日本、ヨーロッパ各地をツアーしていた。1981年以来モンレー・ジャズ・フェスティバルにおいてカリフォルニア・ハイスクール・オールスターバンドを指揮、1987年にはモンレー・ジャズ・フェスティバルの音楽ディレクターとして選出され、その多彩な才能や豊富な経験から音楽教育の依頼も受けている。「ジャズが存続するには、新しい世代を育てていかなければならない」が、彼の信念である。



お二人のための結婚式を  
倉敷アイビースクエアが真心をこめて  
お手伝いいたします。  
婚礼係までお気軽にお問い合わせください。



*Square Wedding*



つたの広場、赤れんがのホテル

倉敷アイビースクエア



●アイビースクエアウエディング  
蔦と  
煉瓦の  
祝福です。

ご婚礼予約承り中

☎ (086) 422-0011

倉敷市本町7-2 FAX (086) 424-0515

# PROGRAM



*Part 1* BILL BERRY &  
HIGH SCHOOL  
• ALL STAR • BIG BAND

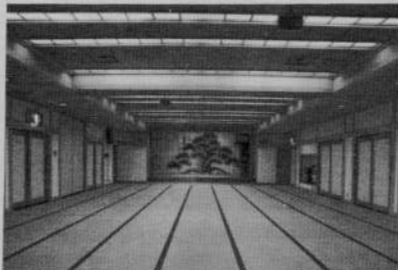
*Part 2* KARRIN ALLYSON  
& TRIO

*Part 3* COUNT HERD  
JAZZ ORCHESTRA

*Part 4* PONCHO SANCHES &  
LATIN BAND

*Part 5* ALL MEMBERS JOINT

おとてなしは、  
心のぬくもりと  
伝統のたたずまい。

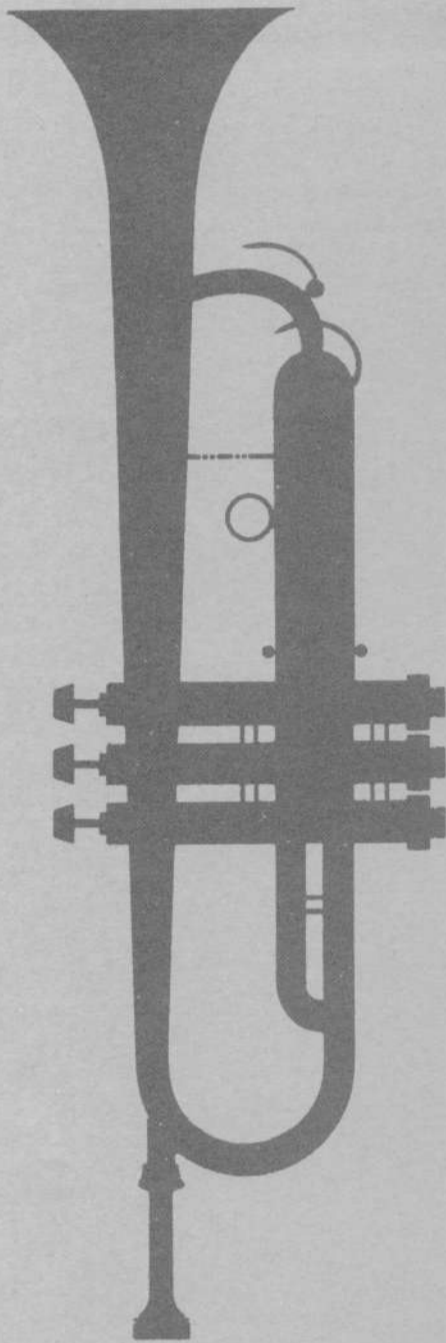


宴会場  
130名様を収容できる舞台付大広間。  
賑やかで楽しい宴会を演出させて  
いただきます。

旅館 御園

〒710-8026 倉敷市老松町3-4-1 電話(086)422-3618(代)  
テレックス5933-175/ファックス(086)421-0371

# COUNT HERD JAZZ ORCHESTRA



BAND MASTER TRUMPET

松井大圓

DAIEN MATSUI

国立音楽大学卒業後、高野山大学卒業  
音楽、トランペット、人、色々な出会い、それは人の世の  
不思議、大自然の不思議、それは仏縁…一切に感謝…

おくら

あちえん



地蔵院

くらしきあち3-20-7 ☎(086)425-0141

くらしきあち3-20-17  
☎(086)425-0143



# MEMBER

A.Sax 西 省二  
SHOJI NISHI

A.Sax 高見 由紀  
YUKI TAKAMI

T.Sax 米倉 孝  
TAKASHI YONEKURA

T.Sax 島中 洋行  
HIROYUKI SHIMANAKA

T.Sax 松枝 恭子  
KYOKO MATSUEDA

B.Sax 遠藤 浩  
HIROSHI ENDO

Trumpet 大嶋 成幸  
SHIGEYUKI OSHIMA

Trumpet 若松 直也  
NAOYA WAKAMATSU

Trumpet 手嶋 尚律  
HISANORI TESHIMA

Trumpet 萩久保雅道  
MASAMICHI OGIKUBO

Trumpet 林 正勝  
MASAKATSU HAYASHI



Trombone 西岡 忠  
TADASHI NISHIOKA

Trombone 石口 俊  
SHUN ISHIGUCHI

Trombone 大淵 政  
MASASHI OBUCHI

Trombone 佐々野 充  
MITSURU SASANO

Drums 藤井 正明  
MASAAKI FUJII

Sax 竹内 一裕  
KAZUHIRO TAKEUCHI

Piano 笹木 収  
OSAMU SASAKI

嘉陽 俊行  
TOSHIYUKI YAYO

Guitar 徳田 昇  
NOBORU TOKUDA

牛尾 隆志  
TAKASHI USHIO

Bass 朝倉 宏樹  
HIROKI ASAKURA

小川 秀憲  
HIDENORI OGAWA

Perc. 高杉 彰博  
AKIHIRO TAKASUGI

Trumpet 山本 幸夫  
YUKIO YAMAMOTO



木曜・金曜・土曜には生演奏あり。

COFFEE TIME A.M. 12:00~P.M. 7:00

P U B TIME P.M. 7:00~P.M. 11:00

PIANO  
HALL

## AVENUE

倉敷・本町 ☎424-8043



エヴァホール岡山

# 心つくして あたたかく

このうえないほどに  
充実した設備。

それに永年の経験と、  
培ってきたノウハウ。

そして何より

スタッフ全員のまごころが、

いのうえエヴァホールの

自慢です。



エヴァホール児島



エヴァホール倉敷

- 受付、ご相談はもちろん  
まごころも24時間無休です。
- もしもの時にそなえて、ご負担の少ない  
生前予約サービスも実施しています。
- 国家公務員共済組合連合会の認定を  
中・四国で唯一受けた信頼と実績で  
ご奉仕申し上げます。

相談無料

こんな時  
いつでもご相談ください。

いくらか費用がかかるのが不安なのですが。

葬儀のことが不慣れなので、すべておまかせしたいのですが。

法要を執り行うには、どのようにすればいいのですか。

社葬・団体葬の経験がないので教えてもらいたいのですが。

故人を大切にしたい、心落ち着く葬儀にしたいのですが。

## 県南に広がるエヴァホール・ネットワーク

- エヴァホール倉敷 倉敷市二日市511-1 ☎(086)429-1000 (大代表)
- エヴァホール岡山 岡山市平井1329-1 ☎(086)274-1000 (代表)
- エヴァホール児島 倉敷市菟池1-2-66 ☎(086)473-1000 (代表)
- エヴァホール別館 倉敷市福荷町7-1 ☎(086)421-1000 (代表)
- エヴァホール玉島 倉敷市玉島爪崎152-1 ☎(086)525-1000 (代表)

エヴァホール別館

●エヴァホール岡山

国道2号線(ハイパス)

●エヴァホール倉敷

●エヴァホール玉島

●エヴァホール児島



# The Monterey Jazz Festival



WORLD PROJECTS  
International Music Productions

COUNT HERD  
JAZZ ORCHESTRA

## ■STAFF

**Thanks thanks thanks.....our staff!!**

KURASHIKI IVY SQUARE  
STAGE OKAYAMA  
SHINKO PRINTING CO.,LTD.  
WORLD PROJECTS BILL LUTT, DAVE MURRAY  
WORLD PROJECTS JAPAN YOSUKE KUROSAKA

## ■実行委員会

DAIEN MATSUI NOBORU TOKUDA  
TADASHI NISHIOKA  
AKIHIRO TAKASUGI TAKASHI YONEKURA  
YUKI TAKAMI KYOKO MATSUEDA  
MASAKATSU HAYASHI  
KAZUO TAKAYOSHI  
ISAO KAMOI MASAO IMAI